

施策評価調書(23年度実績)

施策コード II-2-(3)

政策体系	施策名	医療機器関連産業や次代を担う産業の育成	所管部局名	商工労働部			長期総合計画頁	91
	政策名	活力を創造する商工業等の振興	関係部局名	商工労働部、生活環境部				

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	医療機器関連産業の拠点づくり	次世代電磁力応用機器開発拠点の構築	環境産業への参入と環境活動の促進	ベンチャー企業の育成

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)										
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125						
i	医療機器生産額(百万円/年)	①	H17	103,642	121,000	112,083 (速報値)	92.6%	124,000	139,000										
ii	ISO14001・エコアクション21合計登録件数(件)	③	H16	100	180	183	101.7%	190	220										

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	概ね達成 東日本大震災、タイの洪水被害、円高等により企業の生産活動に影響があったことから目標値を達成出来なかった。	達成
ii	達成 環境に対する社会の関心の高まりを受け、企業における環境マネジメントシステムの認証取得に対する意欲が向上している。県でもセミナー開催や専門家によるコンサルティングを実施するなど、環境マネジメントシステムの認証取得に対し支援を行ったことにより、特に、中小事業者でも取り組みやすいエコアクション21の登録が増加するなど、目標値を達成した。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・医療機器産業の拠点づくりを目的に、大分県医療産業新規参入研究会を設置し、新規参入に向けた業事セミナーや医療機器メーカーとのマッチング会を行い、地場企業の参入意欲が高まった。(参入促進セミナー3回、延べ221名参加)
②	・電磁力の研究開発の成果として、試作機(産業用ロボットモータ、アモルファスモータなど)の完成や磁気測定装置などの開発がなされた。 ・また、地場企業の電磁力応用技術を活用した研究開発等を支援することにより、地場企業への成果移転が進んだ。(採択2件)
③	・循環型環境産業創出事業により、県内産業廃棄物の再生利用に係る事業化を支援し、サーマルリサイクルの推進が図られた。(2件)
④	・ビジネスプラングランプリ応募企業は4年連続で増加するなど、機運醸成が図られた。また、受賞企業の半数以上は売上又は雇用を増加させており、企業の成長につながっている。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト(千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 東九州地域医療産業拠点推進事業	見直し(24年度)事業内容の変更	92	42,829
②	1 次世代電磁力応用技術開発事業	現状維持	-	30,782
	2 省エネ・高効率型産業創出事業	現状維持	-	10,106
③	1 循環型環境産業創出事業	見直し(24年度)事業内容の縮小	-	17,255
④	1 大分発ニュービジネス発掘・育成事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	-	24,648

【Ⅵ. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～④の全てにおいて、概ね順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術人材育成の拠点づくりの推進 ・次世代電磁力応用技術の地場企業への移転拡大や拠点づくりの推進 ・県内産業廃棄物の再資源化の促進など循環型環境産業の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業における環境マネジメントの構築に向けた取組の推進 ・売上や雇用が伸び悩むビジネスプラングランプリ受賞企業等に対する継続的かつ踏み込んだ支援が必要

【Ⅶ. 施策に対する意見・提言】

<ul style="list-style-type: none"> ○東九州メディカルバレー構想県別(大分県)推進会議(H23.8) ・医療機器の開発を行うにあたっては医工連携が重要。 ○企業訪問(H24.5) ・廃棄物の再生処理技術や生産性の向上のためには一定規模の設備投資が必要だが、中小企業にとっては負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成23年度包括外部監査意見(H24.3) ・ベンチャー支援については、単発的な支援だけでは成果を上げるのは容易ではなく、今後も受賞企業に対するフォローアップなどの地道な支援を行っていくことが必要である。
---	--

【Ⅷ. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の医療技術人材の育成に向けた取り組みについて、検討を進めていく。 ・次世代電磁力応用技術をさらに推進できる体制づくり等、拠点づくりに向けた取り組みについて検討を進めていく。 ・産業廃棄物を地域資源として活用する循環型環境産業を育成するため、マテリアルリサイクルなど廃棄物の再生利用に係る事業化の支援を行う。 ・県内企業の環境マネジメントシステムの認証取得を促進するため、セミナー開催や専門家によるコンサルティングの実施等の支援を行う。 ・ビジネスプラングランプリ受賞企業の県外マーケット開拓支援など、フォローアップや支援を強化する。 ・セミナーや学生起業家コンテストなどを開催し、雇用創出効果が期待される創業に対して支援を行う。